

科目番号	52119	分類	地域母子保健学	履修者	高度実践助産コース	学年	1-2		
科目名	国際助産学特論 (International Midwifery)					1-2	配当セスター		
						通年			
担当者	○渡邊香 他3名	区分	助産師プログラム	選択		単位	1	時間数	15
授業の概要および目標					学位授与の方針との関連				
【概要】 国際社会におけるリプロダクティブヘルス・ライツ (Reproductive Health and Rights) の現状と課題を知り、国際保健活動など国際支援の現状を理解する。 世界の出産事情や助産師活動を理解し、わが国の助産師活動における異文化的な視点を強化し、国際的な助産活動・助産ケアについて考える。 【目標】 1. 世界の助産実践と助産師教育の概要を説明できる。 2. 国際社会におけるリプロダクティブヘルス・ライツの問題と支援を説明できる。 3. 世界の産育習俗について社会・文化的背景から考察し、説明できる。 4. 助産活動における異文化問題について説明できる。						1. 自律して自然分娩の支援ができる能力			
						2. 院内・院外助産システムを担うことができる能力			
					○	3. 女性の生涯にわたる健康を支援できる能力			
						4. 周産期の救急時に対応できる能力			
					○	5. 他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力			
					○	6. 研究・開発能力			
					○	7. 倫理的意思決定能力			
授 業 計 画									
回	内 容				担当教員				
第1回	国際助産学の概要 世界の助産実践と助産教育・ICMの役割と機能				渡邊 他3名				
第2回	国際母子保健の潮流における日本の助産師の役割・実践								
第3回	助産・出産の文化人類学 文化的視点からみる助産ケア・子育て支援を考える								
第4回	海外における母子保健・助産活動の実際 ①								
第5回	海外における母子保健・助産活動の実際 ②								
第6回	国内（外国人妊産婦、等）に関する母子保健・助産活動								
第7回	乳幼児の栄養に関する世界の動向：母乳育児支援の実際								
第8回	総合講義、国外・国内（外国人妊産婦、等）に対する母子保健・助産活動について								
事前・事後学習	・助産師教育のためのモデルカリキュラムー読しておくこと。 事前事後学習には30～60分程度で出来る課題を課す。 レポートを課す「国外または国内（外国人妊産婦、等）に対する助産活動・助産ケアについて」								
評価の方法	レポート(60%)、討論・発表 40%などから総合的に評価する。								
参考図書・資料等	◎助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 第6版 我部山キヨ子他 医学書院 ・助産の文化人類学 ブリジット・ジョーダン 日本看護協会出版会 2001 参考図書は適宜紹介する。 ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。								
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。								